

毎日が発見

1月号

2014 No.120

始めましょう!
新しい**健康食習慣**

- 離田 實先生の食生活
- 元気な人の朝ごはん拌見!
- 牧 阿佐美、平 幹二朗、長尾みのる
- カルシウムたっぷり“健骨”和食 野崎洋光
- 100歳までボケない食事 牧野直子

ボランティアのすすめ
インタビュー 岸谷五朗、三宅由佳莉



小井麻子さんに聞く頭皮ケア
髪つややかに、肌のハリがアップ

石田純子さんのおしゃれレッスン
きれい色でマイナス5歳に!

片頭痛の治療最新情報
足の動脈硬化にご注意

まものリフォーム
大人のチュニック
手編みレッスン
かぎ針編みのショール＆クロシェ



編み物ができない人も、タコちゃん作りに参加。マルティナさんがお店する京都市内の手づくり市でも購入できる。

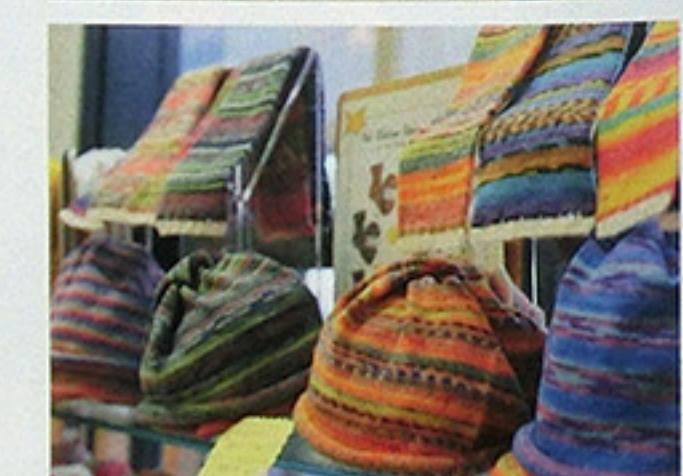
KFSスタッフ全員集合!
みんな笑顔で頑張っています



笑い声が絶えない
プレハブの事務所。



リストウォーマー(上)や腹巻帽子(下)など
多彩な商品を企画・制作・販売する。



たんです。2011年4月。
まだ水や食料が必要じゃない
かと言われましたが……」

受け取ってお礼の電話をくださったのが、気仙沼市の北端に位置する唐桑地区小原木中学校に避難していた方々でした。津波以外の話ができ、何かに夢中になれる貴重な時間

をOpa-lの毛糸が生み出しました。編み物ができるようになつたところで、次に考えたのは、「若いお母さんの仕事の場はあるの?」ということ。そこで、Opa-l毛糸と、これを使った製品を扱う「梅村マルティナ気仙沼F.Sアトリエ(KFS)」を現地に設立。自

身も住民票を気仙沼市に移しました。癒やしからお小遣い稼ぎ、雇用創出へ。時機に応じて形を変えつつ、マルティナさんの活動は続いています。

幸せをもたらす
「小原木タコちゃん」
気仙沼生まれです



上／避難所となつた小原木中学校に、編み物が笑顔をもたらした。
下／手袋、マフラー、ヘアバンドなど、いろいろなものが誕生。



梅村マルティナ

うめむら・まるていな 1959年、ドイツ生まれ。医学研修生として来日し、結婚・出産を機に退職。現在はドイツ語講師、編み物講師として活躍。2児の母。



京都に住むドイツ人女性、梅村マルティナさんが、東日本大震災をきっかけに宮城県・気仙沼で起業することに。扱うのはドイツ生まれの虹色の毛糸と、その糸で編んだ商品。楽しい色柄にひかれ、日本全国にぬくもりの輪が広がっています。

撮影 小野寺真希

京都から気仙沼へ 虹色の毛糸が温かい心をつなぐ

癒やしの時間から
生活再建活動へ

20代で来日し、日本人と結婚した梅村マルティナさん。

京都でドイツ語講師を務める傍ら、趣味の編み物作品を市内の手づくり市で販売していました(※)。

「震災直後、テレビに映った避難所の人たちの表情を見て、あの方たちに必要なものは何かということを考えました。そこで、私が愛用していたドイツのOpa-lという毛糸で編み物のセットを作つて送つ